

# みんなで作る！未来『共創』予算

☎ 財政課 ☎ 0538-37-4883 FAX 0538-36-8954

予算とは、1年間の収入と支出をあらかじめ見積もることです。4月から始まる新年度を前に市議会で議決し決められています。年度内に行われる事業は、この予算に沿って執行されていきます。直面するさまざまな変化にしなやかに対応し、「安心できるまち・人が集まる磐田市」を目指す本年度の予算を、主な事業とともに紹介します。

## 令和6年度予算基本目標

### 安心できるまち・人が集まる磐田市

#### 予算規模の概要

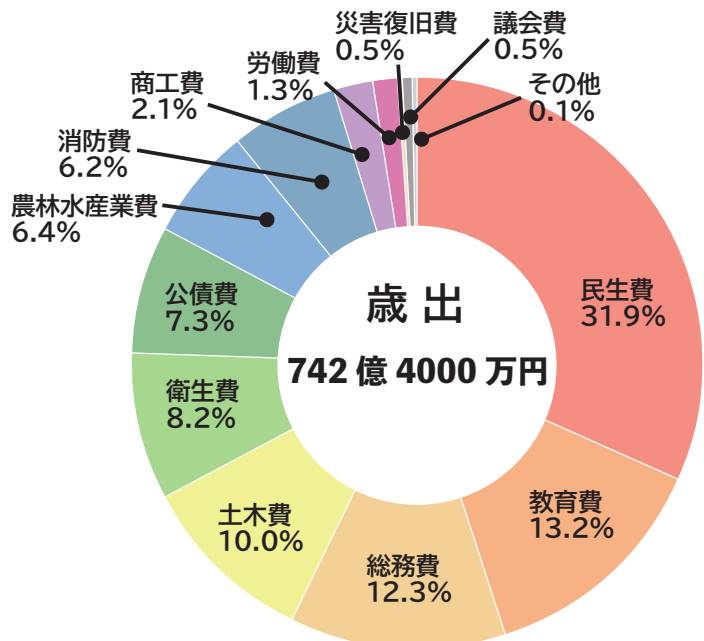
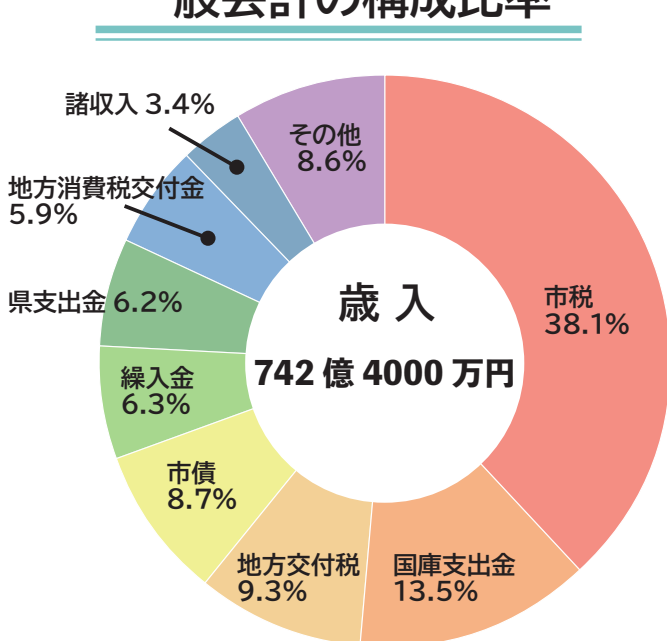
会計名	予算額	前年度比
一般会計	742億4,000万円	↑5.9%
特別会計 (国民健康保険・介護保険など)	317億2,414万円	↓0.9%
公営企業会計 (水道・下水道・病院)	394億4,345万円	↑5.0%
合計	1,454億 759万円	↑4.1%

一般会計は、海岸堤防の整備や向陽学府小中一体校の整備推進、中東遠消防指令センター高機能消防指令システムの全更新や豊岡支所の整備などに加え、扶助費や人件費の増により、増額となりました。

特別会計は、被保険者数の減などに伴う給付費の減少による国民健康保険事業特別会計の減により、減額となりました。

企業会計は、大島排水ポンプ場建設工事費の減などによる下水道事業会計の減額がありますが、(仮称)内視鏡センター建設工事などによる病院事業会計の増により増額となりました。

#### 一般会計の構成比率



## 3つの重点戦略

令和6年度は市民をはじめ、地域、事業者、学校など、より多くの関係者と新たな価値や仕組み、事業などを共に創っていく「共創」の考えを大切にしながら、磐田市の「未来を守る」「未来を創る」ことにつながるよう、市民が安心して暮らせるまち、市外や県外から人が集まる磐田市にするために、重点的に取り組むものとして次の3つの重点戦略を掲げています。

### 1 働く場所・雇用の「共創」

誰もが活躍できるまちにするため、多様な業種の企業誘致の推進や既存産業の育成などにより、いつまでも安心して働き、幸せに生活できるまちを目指します。



### 2 住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた「共創」

未来を担うこどもたちへの投資や子育て支援をはじめ、継続した防災・減災対策、空き家なども含めた本市の資産の活用、また、学びの機会の創出などによる多様なコミュニティの場づくりなどにより、住み続けたい、帰ってきたい、移り住みたい、訪れたい、と思えるまちを目指します。



### 3 新たな価値・魅力の「共創」

スポーツをはじめ、歴史・文化・自然環境など、本市が持つ、自慢できる宝・素材をさらに磨き、それを効果的に活用することにより、新たな価値や魅力の創造を図り、本市の誇りと賑わいづくりを目指します。



## 重点1 働く場所・雇用の「共創」

### 雇用創出・安定化への支援

#### ■ オフィスの立地に対する支援

102,500 千円

新たな産業の柱を創出するため、情報通信業などの第3次産業に着目し、市内でオフィスの新設を行う企業を支援します。

### 元気な農林水産業の育成・支援

#### ■ 新たな特産物産地形成への支援

10,500 千円

関係団体や企業との連携により、新たな産地化を目指すレモンを栽培する圃場整備などに対する補助を行います。

### 企業（起業）支援の強化・促進

#### ■ 中小企業のDX・脱炭素投資への支援

15,000 千円

デジタル技術を導入して生産性を向上させる事業者を支援します。また地域金融機関などとの共創により、自社の二酸化炭素排出量を把握し、その削減に取り組む事業者を支援します。

### 障がい者の就労支援体制の充実

#### ■ 障がい者等の就労支援

122 千円

就労を希望している障がい者等との面談を通じ、特性などの情報をカルテにまとめ、支援機関に提供することで、本人の特性に沿った職業選択や就労の定着を支援します。

## 重点 2

# 住みたくなる・集まりたくなるまちに向けた「共創」

## 安心して子育てができる 支援体制の充実

### □ こどもの居場所に係る支援制度の創設 1,000 千円

新たにこどもの居場所づくり活動を始めるなどの団体に対し、こども食堂など、こどもの居場所の新規開設や事業拡大を支援します。

## 防災・減災対策の推進

### □ 豪雨災害に伴う道路冠水への対応 28,245 千円

道路冠水常襲箇所<sup>※</sup>に注意喚起などの対策を実施し、道路利用者の安全を確保します。

## 住む場所の確保・支援

### □ ジュビロ磐田と連携した移住体験ツアー 854 千円

県外在住者を対象に、先輩移住者や本市在住のジュビロサポーターとの交流を内容とした移住体験ツアーを実施します。

## 学びの機会の創出

### □ 新たな地域クラブ 「SPO ☆ CUL IWATA」の実施 15,359 千円

学校部活動を再編し、地域における活動団体などの参画を得て、新たな地域クラブ活動を実施します。

## 重点 3

# 新たな価値・魅力の「共創」

## スポーツのチカラを活用した まちづくりの推進

### □ スポーツ施設再編整備に係る調査検討 5,500 千円

持続可能なスポーツ施設の維持・整備を行うため、スポーツ施設再編整備に係る調査検討を実施します。

## 文化・芸術・歴史に触れる機会の 充実

### □ 文化芸術活動スペースの整備 7,568 千円

市民の芸術活動を支援するため「ひと・ほんの庭にこっと」2階を改修し、展示機能が整った施設を整備するための基本・実施設計を行います。

## 観光・交流の推進

### □ 「(仮称) 磐田おんぱく」の実施 1,285 千円

市の魅力発信と交流人口増による地域経済の活性化を目的として、観光協会、商工会議所、商工会との共創により、市の文化や歴史、魅力ある産業などを体験できる「(仮称) 磐田おんぱく」を開催します。

### □ 地域おこし協力隊を活用した 動画コンテンツ等による魅力発信 8,854 千円

磐田市の魅力を移住者ならではの目線で発信するとともに、SNSを通じたコミュニティを形成し、磐田市に興味関心のある人同士がつながる新たなコミュニケーション機会を創出します。



# 5つの安心プロジェクト

令和6年度磐田市当初予算の中から、新規事業や拡充事業を中心に、政策推進の5つの柱に沿った事業を紹介します。

## 子どもたちの安心

### 第3の教育支援センターの設置 9,854千円

多様化・増加する不登校児童生徒に応じた「多様な学びの場」の選択肢として、第3の教育支援センターを公設民営により設置します。

### 子育て世帯等に対する家事支援事業の開始 1,127千円

家事・育児等に不安や負担を抱える子育て家庭などに、家事支援ヘルパーを派遣します。



子育て支援（イメージ）

## 暮らしと健康の安心

### フレイルの改善を目指した取組 6,552千円

自立した生活を少しでも長く送ることができるようにするため、リハビリテーション専門職による改善に向けた助言・指導を行う新たな支援を実施します。

### 磐田市立総合病院に（仮称）内視鏡センターを新設 910,000千円

患者数の増加が見込まれる消化器疾患の受入体制を拡充するため、内視鏡センターを新設します。



市内で行われている100歳体操

## まちづくりと防災への安心

### 省エネ家電買替促進キャンペーンの実施 100,000千円

消費エネルギーの削減に貢献する家電の買替を促進することで、家庭から排出する二酸化炭素を削減、環境負荷の低減について市民に啓発します。

### 豊岡支所庁舎の整備 532,032千円

令和7年4月の開所に向け本体工事などを実施します。



豊岡支所庁舎

## 未来と仕事の安心

### フィリピン（ダグパン市）・タイとの交流事業 5,858千円

姉妹都市であるダグパン市との交流を行うとともに、縮小する国内市場を踏まえ、市内産業の活性化を図るため、タイ国との産業交流を実施します。

### 企業立地に対する支援 679,820千円

次世代産業や既存産業の集積を積極的に推進するため、工場などの新增設を行う企業を支援します。



新平山工業団地

## 安心できる市役所づくり

### 「書かない・行かない」窓口の本格運用 14,560千円

証明発行業務に加え、6月からは住民異動に伴う業務を稼働します。

### デジタルデバインド対策の推進 6,963千円

スマートフォン教室の実施や地域で身近にスマートフォンの操作を相談できる人材を育成します。



磐田市役所本庁舎1階市民ホール